

江戸川改修増補工事計画

## 江戸川改修増補工事計画

江戸川ハ其流路利根川ノ半バニモ達セザル近距離ニテ海ニ注  
グヲ以テ利根川洪水量ノ大部分ヲ全川ニ分流セシムルコトハ  
地勢上自然的ニシテ利根川ノ沼水上最モ得策トスル所ナ  
リト虽モ旧幕時代ヨリ江戸附近ヲ常ニ洪水圏外ニアラ  
シムル治水方策ノタメ利根川ノ洪水流入量ヲ制限シ來レリ  
現在改修工事ニ於テハ從來ノ此制限ヲ撤廢シ其流入量  
ハ利根川ノ四割ニ相當スル毎秒二千二百三十立米ト定メタリ  
増補工事計画ニ於テハ栗橋地先ニ於テ増加スベキ流量毎  
秒四千四百三十立米内七百七十立米ヲ江戸川へ増加分派  
シ全川ノ計画流量ヲ毎秒三千立米ト定ム  
今三千立米が果シテ適當ナルカ更ニ増加シ四千立米又ハ夫  
以上流入セシムルヲ可トスルカ或ハ現在計画ノ二千二百三十立米

ニ止メ増加流量ヲ總テ利根本川ニテ處理スルヲ得策トスルカ  
ニ就テ各案ヲ比較検討セム。

各案計畫ノ基準トスベキ高水位ニ就テ流量三千立米ニ對  
スル計畫高水位ハ流頭關宿ニ於テ今次出水ノ最高水位Y、  
P、上一七、三九六米トナシ流末ニ於テハ最近十ヶ年ノ平均最  
高潮位Y、P、上ニ、ニ米ヲ採リ其他ノ諸案ニアリテハ江戸  
川分派量ノ増加ニ伴ヒ利根本川水位ノ低下ヲ考慮シ流頭  
ノ水位ヲ定メ中間部ノ水位ハ各流頭ニ於ケル所定ノ水位ニ適  
合セシム。

増補堤防ハ高サ計畫高水位以上ニ米馬踏幅七、五米法勾配小  
段等ハ從來ノ形狀ニ據ル流末行徳放水路分岐点ニ於ケル流量  
ハ旧江戸川ニ八百立米其他ヲ放水路ニ放流ス。

一 計畫流量ヲ毎秒三千立米トスル案

三千立米流下増補工事ハ現在ノ堤防ヲ利用嵩上、擴築シ  
河敷ノ一部ニ掘鑿エヲ施スコトニヨリ流量ニ相當スル河積ヲ  
得ルモノニシテ外ニ流頭呑口ノ修補工事ト附帶諸工事等  
ヲ施行スルモノナリ。

堤防ノ擴築ハ全川ヲ通シ川裏ニ添築スルヲ甲案トシ河積ニ  
比較的餘裕ヲ存シ且用地費、高價ナル流山以下ハ川表ニ添  
ヒ擴築、其上流部、川裏ニ擴築スルヲ乙案トス、甲案ニヨ  
ルトキハ工費金九百五十七萬三千圓、乙案ニヨルトキハ工費  
金八百九十萬三千圓トナル。

一 計畫流量ヲ毎秒三千立米以上トスル案

計畫流量ヲ三千立米以上ニ増加スルトキハ新ニ川幅ヲ擴大從  
ツテ用地買收費ニ多額ノ金額ヲ要シ堤防ハ嵩上、擴築ノ外既  
成堤防ノ稜築ヲ施サル可ラズ、流頭呑口モ亦大増補工事ヲ

必要トスル等其工費著シク嵩ム。今假ニ計画流量ヲ四千立  
米トシタル場合ノ工費ヲ算出スルニ三千九百五十七萬圓ノ巨額  
ニ達ス。左ニ種々ノ流入量ニ對スル増補工事費ヲ掲出シ對照ニ

便ス。

流 量	増補工事費		摘 要
	甲案	乙案	
三、〇〇〇立米 (七七〇)	九、五七三、〇〇〇	八、九〇三、〇〇〇	流山以下現堤川表へ 全 以上 川裏へ 添築
四、〇〇〇立米 (二七七〇)	三九、五七〇、〇〇〇	三九、五七〇、〇〇〇	
四、五〇〇立米 (三、二七〇)	四八、九九二、〇〇〇	四八、九九二、〇〇〇	全川川裏へ添築 川幅最大部三六九米、最小部六九米 平均ニ二米擴大
五、五〇〇立米 (三、二七〇)	五九、九〇〇、〇〇〇	五九、九〇〇、〇〇〇	
	一八、三二〇	二一、五八〇	川幅最大部四六四米、最小部一三九米 平均三〇米擴大

備考 流量欄中括弧ヲ付スルモノハ現計画ヨリ増加シタル量ヲ示ス  
此工費ノ増加ハ主トシテ沿川ニ市邑多ク且ツ帝都ニ近接スルヲ以  
テ一般ニ地價高ク用地買收費ノ多額ナルニ基因ス。

然レ共江戸川分派流量ヲ増大スルトキハ全川分派口關宿  
以下利根川ノ流量ヲ減シ從テ利根本川ノ増補工事費ヲ  
減シ得ルコト勿論ナリ。依テ江戸川ノ分派流量ヲ工費ノ上  
ヨリ經濟的ニ決定スルニハ江戸川ノ増加流量ニ對スル増補  
工事費ト之ヲ利根川ニ於テ増加セシメタル場合ノ利根川ノ  
増補工事費ノ比較ニ俟タサル可ラズ。而シテ利根川ニ流量  
ヲ増加スベキ場合ハ後章記スル所ノ布佐ヨリ東京灣ニ通ス  
ル放水路ニヨリ之ヲ流下セシムルモノニシテ為ニ關宿以下布佐  
放水路口ニ至ル堤防増補工事並ニ放水路ノ増加流量ニ對ス  
ル増工事ヲ要スルモノナリ。此兩者ノ工費ヲ合スルモ遙ニ川幅  
擴大ニヨル江戸川ノ増補工事費ヨリ廉ナル結果ヲ示ス。即チ  
江戸川ノ計画分派量ヲ三千立米ト定メタルハ工費ノ点ヨリ  
最モ經濟的ナリト認メタルモノニシテ此上更ニ一千立米ヲ増

用也物ノミテ  
以大量ニ生セ又  
増産取リ、  
（ある大  
生不

加スルニ要スル増工費ハ三千六十六萬七千圓ニシテ此ヲ利根川放水路流量ニ一千立米ヲ増加スル爲メノ工事費約八百五十萬圓、關宿以下布佐ニ至ル堤防増補工事費約九十萬圓トノ計九百四十萬圓ニ比スレバ實ニ三倍以上ノ多額工費トナル。放水路工費ノ江戸川擴大工費ニ比シ廉ナルハ放水路經過地ハ概シテ僻地ノ水田畑地及山林ニシテ一部東京灣ニ面セル市邑地アリト虽モ大体ニ於テ用地買收費低廉ナルト移轉ヲ要スル家屋ノ少キニ依ル。

- 一 流量ニ五〇〇立米ヲ放水路ニ分流スル案ト此流量ヲ江戸川流量ニ三〇〇立米ニ増加分流スル案トノ比較。
- 江戸川計画流量ヲ二、五〇〇立米増シ五、五〇〇立米トナス時ハ此増補工費五九、九〇〇〇圓ヲ要シ流量三、〇〇〇立米ニ要スル工費一〇、七〇〇〇〇圓ニ比シ四九、二〇〇〇〇圓ヲ増ス然ルニ江戸川分派

口以下布佐放水路分派

口間利根本川ニ於テ流量ニ五〇〇立米減少ニヨリ増補工事費二、七〇〇〇〇圓ヲ減スルヲ以テ差引四六、五〇〇〇圓ノ増工費トナル此増工費ト放水路工事費二五、五〇〇〇圓（檢見川案）ト對照スルトキハ放水路案二一、〇〇〇〇〇圓低廉トナリ放水路工事ノ經濟的ナルヲ明確ニ示スモノナリ。

- 一 計画流量現計画（毎秒ニ二三〇立米）通りトスル案。今田ノ出水ニ當リ江戸川へ流入セル實測流量ハ二千六百八十立米ナルヲ以テ現在計画流量二千二百三十立米ニ制限スルニハ
- 一 現在ノ流頭高水呑口敷巾ノ約三割ヲ減縮狹窄スルコト
- 二 高水呑口ヲ全部締切現在水堰ヲ増設シテ約一倍半ノ流面積ヲ有スルモノトスルコト

ノ何レカノ工事ヲ施サザル可ラズ且現在水堰ハ計画高水位ノ改訂ニ從ヒ之ヲ高メ尚落差ノ増加ニ應シテ下流部水叩、護岸ノ修

補並ニ流頭部附近堤防ノ嵩上等ノ施工ヲ要ス

而シテ第一ノ方法ニヨリ流量ヲ制限スルトキハ旧關宿棒出類似ノ施設及相當範圍ニ亘リテ水勢ノ激衝ニ備フル堅固ナル増補工事等何レノ方法ニヨルモ約三百萬圓ノ工費ヲ要ス

即江戸川分流量ヲ現計畫ノ儘ニ置クモ前述ノ工事費ヲ要シ又之ヲ治水上ヨリ見テ果シテ江戸川分派口ニ於ケル利根川ノ増加流量ヲ全部利根川ニ流下セシムルコトヲ得ルヤ否ヤ現在分派口以下鬼怒川口ニ至ル利根川ノ計畫流量ハ三千三百四十五米ナルニ増補計畫ニ於テ栗橋地先増加流量四千四百三十五米ノ内七百七十五米ヲ江戸川ヘ分派シ三千六百六十五米ヲ本川ニ加ヘ分派口以下鬼怒川口ノ増補計畫流量七千五百米ト定メタルモノニシテ之ヲ現計畫ニ比スレバ二倍余ノ増加トナリ既ニ全川中最モ増加率ノ高キ區間ナルニ拘ラズ江戸川分流量ヲ現狀ニ置クタメ更ニ七百七十五米ヲ

之ニ加フルコトハ著シク此區間ノ流量ヲ過大ナラシメ高水防禦ヲ不安ナラシムルモノニシテ治水上適策ト云フヲ得サルベシ況ヤ江戸川分流量ヲ現狀ノ儘ニ置クトスルモ尚工費約三百萬圓ヲ要シ流量七百七十五米ヲ増派スルモ工費ハ凡ソ九百萬圓ニ<sup>テ</sup>結局六百萬圓ノ工費ヲ以テ七百七十五米ノ流量ヲ加ヘ得ルコトナル即チ現在堤防ヲ利用増補シ三千五百米ヲ流下セシムル案ハ工費莫ヨリモ經濟的工事ニシテ最モ適切ナル計畫ト認ムルモノナリ

### 利根運河増補計畫

利根運河ハ利根運河株式會社ノ管理ニ屬シ明治三十三年開鑿工事ヲ竣成シ下利根川東京間ノ通船ノ便ニ供シ來リタルモノナリ

洪水時ニアリテハ利根川口ノ水堰ヲ閉鎖スルヲ以テ運河内ノ水位ハ江戸川ノ洪水ニヨリ左右セラル西岸堤防ハ現在計畫高水位上凡ソ五米内外ヲ有シ今回ノ洪水ハ運河西口(江戸川口)ニ於テ現計畫高

水位ヲ超過スルコトハ二米<sup>米</sup>及ビ利根川口水堰ニ於ケル落差一四五米ニ達シ漏水タメ水堰西翼護岸ニ崩壞ヲ來シ一時危険ニ頻シタルが幸ニ水防ノ努力ニヨリ之ヲ防備シ得タルモ不幸北岸福田村及南岸田中村地先堤防ハ遂ニ溢流鉄漬ノ厄ヲ蒙リ二百十余町歩ノ耕地ニ汎濫セシメタルモノニシテ今回ノ増補計畫ニ於テ改訂計畫高水位ニ應スル何等カノ施設ヲナス要アルモノナリ。

第一案 現在堤防ヲ利用嵩上、擴築シ併セテ水堰ヲ改築シ以テ利根川高水流量ノ一部ヲ江戸川へ流下スルコトニ利用スルモノ。  
第二案 從來通り高水時ニ利根川口ノ水堰ヲ遮断シ運河堤防ヲ江戸川ノ水位ニ應シテ嵩上、擴築スルモノ。

### 第一、運河利用案

近年江戸川ノ洪水位ハ運河口ノ上流部ニ對シ其下流部ハ比較的低キヲ常トス之レ下流部ハ河幅比較的廣キト河底砂採取ノタメ著シ

ク低下セルニヨリ河積ヲ増セルニ基因スルモノニシテ是レ本案ノ計畫ヲ可能ナラシメタル所以ナリ。

運河ヨリ流入セシメ得ル流量ヲ算出スルニ増補計畫高水位ニ於テ三百立米トナル。從テ運河口以下江戸川ノ流量ハ三千三百立米ニ増加シ之レガタメ上昇スベキ江戸川ノ水位ハ江戸川計畫流量三千立米ノ乙案ニ比シ下流河原量水標ニ於テ九種、運河口五一種、野田一〇種ニシテ其背水ノ影響上流寶珠花ニ及ビテ計畫高水位ニ一致ス。上昇水位ニ對スル增加工費ハ九十一萬一千圓（主トシテ堤防嵩上及用地費）トナル。運河ノ増補工ハ堤防馬踏現在五、四米ナルヲ六米ニ擴メ高サハ本川全樣計畫高水位以上二米ニ嵩上擴築シ此用地費及護岸費、水堰改築費ヲ加ヘテ計八十三萬八千圓ヲ要スルニヨリ江戸川ト合セテ總工費百七十四萬九千圓トナル。然ルニ一方利根川ニ於テ運河東口以下ノ流量三百立米ヲ減少セシムレバ本川増補工事

及放水路工事ニ於テ減額シ得ル工費約三百十萬圓ニシテ運河ヲ利  
用スルコトハ工事費ニ於テ百三十五萬圓ヲ減ズルコトナル

今田ノ計画ニ於テ江戸川口分流量ヲ三千立米以上ニ増加スルヲ經濟上  
不利トセルガ本案ニヨリ最モ有利ニ江戸川ヘノ流入量ヲ増加シ得タル  
モノト云フベシ。況ヤ運河ヲ高水流下ニ利用セザル場合ニアリテモ第  
二案ニ示ス如ク増補工事トシテ五十萬圓ノ工費ヲ要スルヲ以テ運河  
利用案ハ適切ナル良案タルコトヲ首肯シ得ルモノナリ。

第二運河ヲ利用セザル案  
本案ハ高水時從來通り水堰ヲ閉鎖シ運河内ノ高水位ハ江戸川  
新計画高水位ノ影響ニヨル高サニ定メ、高水上ノ堤高其他ノ堤  
形ハ第一案全様ニ擴築シ併セテ水堰ノ改築ヲ施スモノニシテ第  
一案ニ比シ堤防高ハ凡ソ、三三米ヲ低下シ土量九萬九千立米ヲ減  
シ護岸費、用地費等モ亦減額ヲ見ルベシト虽モ尚五十萬圓ノ

○  
増補工事ヲ必要トス

以上検討ノ結果江戸川ノ増補計画ハ左ノ通り定ムルヲ最モ適當  
ナリト認ム。

一、江戸川分派口ニ於ケル計画高水分流量ハ三千立米トシ運河西  
口以下ハ運河ヲ通ジテ利根川ヨリノ流入量三百立米ヲ加ヘ三千  
三百立米トス。

一、増補工事ハ現在堤防ヲ利用、流山ヨリ上流ハ川裏ニ添ヒ以下ハ  
川表ニ添ヒ擴築、嵩上シ河積不足、上流及中流一部ノ河敷ニ  
ハ掘鑿ヲ施ス。

一、利根運河ニ高水流量三百立米疏通セシムル増補工事ヲ施行ス  
更ニ本計画ノ内容ニ少シク説明ヲ加ヘ其工費概算額ヲ揭示スベシ

一、計画高水位ハ本年ノ最高水位ヲ基準トセルガ其最高水位時  
ハ幸ヒ高潮ト會セサリシタメ下流部ノ水位ハ比較的低位ニ在

~~増補工事~~  
ヲ要スルコト



リ依ッテ下流部ノ最高水位ハ今回ノ出水ガ海口ニ於テ平均最  
 高潮位ニ會シタルモノトシテ計画シタリ  
 即計画高水位ハ流頭呑口ニ於テY、P、上一七、三九六米(昭和十年  
 九月出水最高位)流末放水路末端ニ於テY、P、上二、二二米(最近  
 十ヶ年平均最高潮位)トシ中間ハ計算ニヨリ定メタリ、

江戸川増補計画高水位

今上	野田	東金野井	寶珠花	關宿	高水路呑口	量水標名	増補計画水位ト比較		摘要
						現計画高水位 (Y、P上)	昭和十年九月 最高水位(〃)	増補計画 高水位(〃)	
一〇、一九六	一一、三三四	一二、九八四	一三、八五八	一五、四三一	一五、七六一	一〇、八三二	一七、三九六	(+) 一、六三五	
一〇、八三八	一一、八七九	一二、九四一	一五、二一七	一六、九七〇	一七、三九六	一一、三六〇	一七、〇一〇	(+) 一、五七九	
一一、五五〇			一五、二六〇	一七、〇一〇				(+) 一、四〇二	
(+) 一、三五四			(+) 一、四〇二	(+) 一、五七九	(+) 一、六三五			(+) 〇、二四三	
(+) 〇、七二二			(+) 〇、二四三	(+) 〇、〇〇四	〇				

運河口	三輪野江	流山	八木郷	松戸	金町	小岩	河原	放水路末端
九、九二七	九、四七六	八、九〇九	七、七六四	七、三五三	六、八四七	五、七六七	四、五〇七	
一〇、八三二	一〇、〇九六	九、四〇〇	七、四〇五	六、八一〇	六、二五〇	四、七七〇	三、三四〇	二、二二〇
(+) 一、三六三		(+) 一、三七一	(+) 〇、九五六		(+) 〇、九〇三		(+) 一、二一三	
(+) 〇、五三八		(+) 〇、八八〇	(+) 一、三一五		(+) 一、五〇〇		(+) 二、三八〇	

一、計画低水位 本川低水位ハ近年河床ノ低下ト共ニ低下シ特ニ  
 下流部ニ於テ著シキヲ見ル故ニ本計画ニ於テハ最近三ヶ年  
 (昭和五、六、七)ノ平均低水位ヲ採用ス

一流末行徳放水路分歧矣ニ於ケル計画流量ノ分配ハ旧江戸川ニ八百立米、放水路ニ二千五百立米トス

一堤防ハ總テ現在堤防ノ嵩上、擴築ヲナスモノニシテ下流部ハ河積ニ比較的餘裕アルヨリ流山以下ハ止ムヲ得サル特別ノ箇所ヲ除キタル外總テ川表へ擴築、全以上ハ全部川裏へ擴築ス。堤防ハ高サ計画高水位上ニ米馬踏七、五米表法左岸ニ割、右岸ニ割五分、裏法ハ小伎迄ニ割全以下三割、小伎ハ天端下ニ米幅四米トス。

一高水敷中計画低水位ヨリ一米以上アル部分即ハ水郷、流山間及野田、關宿<sup>間</sup>之ヲ〇、六米高ニ掘鑿シ、低水路中水深平均一、五米ニ足ラザル金野井、寶珠花間ハ之ヲ一、五米以下ニ浚渫シ以テ河積ノ不足ヲ補ヒ流水ノ疏通ヲ良好ナラシム。

一流頭部高水呑口ハ左岸ヲ突出シ右岸ヲ削リ以テ利根川ヨリノ流入方向ヲ改善シ並ニ計画高水位ノ上昇ニ伴ヒ水堰、閘門及

護岸、床固、増補工事ヲ施ス。

一附帶工事ハ堤防ノ擴築ニ伴ヒ樋管ノ繼足、揚排水機ノ移設、水路道路ノ付替、橋梁ノ引揚ゲ繼足並ニ利根運河ノ増補工事ヲ施スモノニシテ運河工事ノ主ナルモノハ利根川口水堰ノ改築狹窄部ノ除却堤防ノ擴築護岸ノ施設等ニシテ堤防ハ高サ計画高水位上ニ〇、米馬踏六米、表法ニ割、裏法三割トス而シテ擴築ヲ要スル堤防ノ延長百六料ニ、所要土量一千二百四十萬立米掘鑿土量三百六十餘萬立米ニシテ其大部分ハ堤防ニ利用スルモ其下流部堤防ニアリテハ土砂ノ求ムベキモノナク勢ヒ遠距離運搬ヲ忍バサル可ラズ為ニ工費ノ嵩ムハ止ムヲ得サルモノトイフベシ。

### 江戸川改修増補工事費概算

但流量三千立米紗運河西口以下三千三百立米紗トス

2  
江戸川  
利根川  
トナリ  
トナリ

一、工費金壹千七拾萬貳千圓也  
 內譯別紙、通り

江戸川改修増補工事費概算書  
 一金壹千七拾萬貳千圓也

内譯

見  
 2

費目	工種	單位	數量	單價	金額	摘要
本工事費	築堤費	米	八八〇〇〇	三〇〇	二六六四〇〇	自辦土
			三五二〇〇	一一〇	三五二〇〇	利用土
	掘蓋費		一三〇〇〇	二五〇	三〇〇〇〇	高水敷掘蓋分掘蓋
			二三二〇〇	一一五	二六六八〇〇	掘蓋
			二一八〇〇	〇六〇	七〇八〇	低水路浚深
	護岸費		—	—	—	
	特殊費				二八〇〇〇	
	計				三八六九八八〇	
附帯工事費					一四七〇七二〇	内利根運河関係 八三三三五〇円

費目	工種	單位	數量	單價	金額	摘要
費目	工種	單位	數量	單價	金額	摘要
用地費					一四三三.〇〇	
船舶機械費					三〇八七.〇〇	
營繕費					一八五.〇〇	
測量費					五九二.〇〇	
雜費					五九二.一〇	
共済組合料					五九二.〇〇	
合計					一〇七〇六.〇〇	

附帶工事費内譯

工種	數量	金額	摘要
工種	數量	金額	摘要
桶管継足	四二 <small>斤</small>	一三七.〇〇	
用排水機移転	一一	七三.三七〇	
陸間補修	一	五.〇〇	
水路付替	五 <small>料</small>	五〇.〇〇	
道路付替	三	二五.〇〇	
橋梁	七	三五〇.〇〇	
利根運河関係	一	八三八.三五〇	内訳下記通り
計		一四七八七.〇〇	

利根運河関係内譯

工種	費目	金額	摘要
工種	費目	金額	摘要
利根運河関係	用地費	五八.八〇	
	築堤費	二八.三五〇	
	護岸費	二九.九〇	
	水堰費	二〇.〇〇	
計		一三八.三五〇	